

electro-harmonix

BASS PREACHER

Compressor/Sustainer

Electro-Harmonix Bass Preacherをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。Bass Preacherはコンパクトなコンプレッサー/サステイナーで、幅広いパラメーターでベースのダイナミクスを繊細にも大胆にも調整することができるので、調整次第でベースの細かいレベル調整や極端なコンプレッションサウンド効果を作り出すことが可能です。ベース用にデザインされていますが、Bass Preacherはより繊細なコンプレッションを必要とするギタリストにも適しています。

インプットの感度のレンジは-10dBuから+2dBuですので、パッシブのベースにもアクティブのベースにも適しています。Bass Preacherは最大21dBのゲインリダクションと、シグナルをフルボリュームまで戻しフルサスティーン(コンプレッション)を加えるメイクアップゲインを装備しています。Attackスイッチはコンプレッサーのレスポンスタイムを変化させ、コンプレッサーのサウンドのさらなるコントロールを可能にします。Bass Preacherはトゥルー・バイパスを採用しています。

— BASS PREACHERの使用方法 —

フットスイッチを使用しエフェクトをONにして下さい。赤いLEDはエフェクトがONであることを示します。SUSTAIN(サステイン)コントロールを使用しコンプレッションの量を調節して下さい。VOL(ボリューム)コントロールを調整し、入力されたシグナルに対して出力のボリュームのカット、マッチ、ブーストを行ってください。そして、コンプレッションのかかり始めるタイミングを切り替えるATTACK(アタック)トグルスイッチでFAST、MEDもしくはSLOWモードを選択してください。FASTモードでは、即座にコンプレッションがかかりより圧縮されたサウンドになります。SLOWモードでは、ゆっくりとコンプレッションがかかりアタック感が増します。MEDモードはFASTモードとSLOWモードのアタック・エンベローブの中間となります。

－ コントロールと接続 －

フットスイッチ&ステータスLED - エフェクトがON時にLEDが点灯します。電源が供給されるとステータスLEDがまぶしく光り、十分な電圧が供給され使用が可能な状態であることを示します。Bass Preacherがバイパス時にはLEDは点灯しません。フットスイッチを使用しエフェクトのONとバイパスを切り替えてください。

VOL(ヴォリューム) コントロール - 出力レベルをコントロールします。コンプレッションによって減衰したレベルの補正やブーストなどにお使いください。

SUSTAIN(サステイン) コントロール -コンプレッションの量(強さ)を調整します。

ATTACK(アタック) スイッチ - アタック/ディケイのタイミングを切り替えます。

INPUTジャック - 楽器または他のペダルのアウトプットを入力するフォンジャックです。インプットのインピーダンスは450k Ω です。

AMPジャック - Bass Preacherからの信号を出力するアウトプットジャックです。アウトプットのインピーダンスのレンジは150 Ω から2.8k Ω です。

9V パワージャック - Bass Preacherは9Vバッテリーで使用が可能ですが、Electro-Harmonix 9.6DC-200アダプターでの使用も可能です。アダプター使用時は9Vパワージャックにアダプターを接続して下さい。Bass Preacherは9VDCセンターマイナス/33mAの電源を必要とします。50mA以上のBoss® と Ibanez®の同様なアダプターも使用可能です。

注意: 間違ったアダプターを使用されるとBass Preacherを破損する恐れがあり、保証対象外となります。アダプターを使用される前にアダプターの仕様をご確認ください。

－ 電池交換について －

9Vバッテリーの交換の際には、底面の4本のネジを外して下さい。ネジを外すと底面のパネルが外れます。パネルを開けている時は中身を破損させる危険がありますので、サーキットボードに触れないようご注意ください。